



平成25年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月11日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社トーセ

コード番号 4728 URL <http://www.tose.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート部門統括

(氏名) 渡辺 康人

TEL 075-342-2525

四半期報告書提出予定日 平成25年4月15日

配当支払開始予定日

平成25年5月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年8月期第2四半期の連結業績(平成24年9月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第2四半期	2,431	△12.3	179	△34.2	263	△14.5	156	3.1
24年8月期第2四半期	2,772	14.7	273	333.0	308	323.1	151	267.9

(注)包括利益 25年8月期第2四半期 245百万円 (61.8%) 24年8月期第2四半期 151百万円 (280.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第2四半期	21.17	—
24年8月期第2四半期	20.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年8月期第2四半期	7,200		5,335		73.8
24年8月期	6,850		5,180		75.4

(参考)自己資本 25年8月期第2四半期 5,315百万円 24年8月期 5,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	12.50	—	12.50	25.00
25年8月期	—	12.50	—	—	—
25年8月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年8月期の連結業績予想(平成24年9月1日～平成25年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,246	0.1	301	△33.3	318	△34.3	180	△42.7	24.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年8月期2Q	7,763,040 株	24年8月期	7,763,040 株
25年8月期2Q	360,305 株	24年8月期	360,065 株
25年8月期2Q	7,402,906 株	24年8月期2Q	7,403,226 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
・当社は、平成25年4月19日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、昨年12月に発足した新政権による経済政策への期待感から、株価の上昇や円安傾向が進み、景気回復に向けた明るい兆しが見えつつありますが、欧州の債務危機問題や新興国経済の減速等により、先行き不透明な状況となりました。

家庭用ゲーム業界におきましては、大型タイトルの発売や「ニンテンドー3DS LL」の投入により、「ニンテンドー3DS」の国内累計販売台数が本年1月には1,000万台を突破する(株式会社エンターブレイン調べ)等、好調に推移しました。また、昨年12月に新型ゲーム機「Wii U」が発売され、本年年末には新型ゲーム機「プレイステーション4」の発売が予定される等、次世代ハードの登場が相次いでおり、今後ゲームソフト会社から新型ゲーム機向けタイトルが数多く発売されることで、ハード・ソフトともに市場の活性化が期待されます。

モバイル業界におきましては、平成23年のモバイルコンテンツ市場の市場規模が前年比14%増の7,345億円、iPhone及びAndroid OS搭載端末に代表されるスマートフォン上でのモバイルコンテンツ市場が前年比555%増の806億円となっており(一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム調べ)、引き続き拡大傾向にある中、スマートフォンの利用者が急増しております。本年におけるスマートフォンの出荷台数予測は3,160万台、携帯電話端末の総出荷台数の76.3%をスマートフォンが占めると予想されております(株式会社MM総研調べ)。一方で、ソーシャルゲーム市場においては、本年の国内市場規模が4,200億円を突破する(株式会社矢野経済研究所調べ)と予測されており、コンパガチャ問題に係る規制導入等もあって成長率自体は鈍化するものの、大手ソーシャルゲームプラットフォーム事業者の積極的な海外展開や新規参入企業の増加等により、引き続き拡大基調を保っております。

このような状況のもと、当社グループは多様化するゲームプレイ環境への対応力強化や事業拡大を目指して機構改革を実施し、開発体制の強化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、受注に至らなかった案件や中止案件が複数発生したものの、良好な受注環境を背景に代替案件を受注し開発完了することができたことから、当初計画どおりの24億31百万円(前年同四半期比12.3%減)となりました。一方、利益面につきましては、一部に不採算タイトルが発生したものの、ゲームソフト開発事業において徹底した開発原価の低減を推し進めたことやロイヤリティ売上が好調に推移した結果、営業利益は1億79百万円(前年同四半期比34.2%減)となりました。経常利益は為替差益等の発生により、2億63百万円(前年同四半期比14.5%減)、四半期純利益は投資有価証券償還益等の発生により、1億56百万円(前年同四半期比3.1%増)となりました。

なお、開発完了タイトル数は、家庭用ゲーム機向け9タイトル、パソコン向け1タイトル、パチンコ・パチスロ向け1タイトル、携帯端末向け20タイトルの合計31タイトルとなりました。

セグメントの業績は次の通りであります。文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

①ゲームソフト開発事業

ゲームソフト開発事業におきましては、受注に至らなかった案件や顧客の要望に基づき開発スケジュールを変更した案件が複数発生したものの、良好な受注環境を背景にパチンコ・パチスロ案件の追加作業等の代替案件を受注し開発完了することができたことから、開発売上は15億16百万円となりました。

運営売上につきましては、大型のソーシャルゲーム案件の運営業務を実行できたことから、1億26百万円となりました。

ロイヤリティ売上につきましては、海外向けタイトルやパチンコ・パチスロ案件が好調に推移した結果、52百万円となりました。

この結果、当事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は16億95百万円(前年同四半期比19.3%減)、営業利益は1億50百万円(前年同期比33.6%減)となりました。

②モバイル開発事業

モバイル開発事業におきましては、受注に至らなかった案件が複数発生したものの、スマートフォン向け案件の追加作業や部分作業等の代替案件を受注し開発完了することができたことから、開発売上は3億63百万円となりました。

運営売上につきましては、運営業務を終了したタイトルが発生したものの、ソーシャルゲーム案件を中心に順調に推移した結果、1億55百万円となりました。

ロイヤリティ売上につきましては、従来の携帯電話向けコンテンツのロイヤリティ売上に減少傾向が見られたものの、スマートフォン向けコンテンツのロイヤリティ売上が好調に推移した結果、60百万円となりました。

この結果、当事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は5億78百万円(前年同四半期比5.7%増)となりました。営業利益は、一部のソーシャルゲーム案件において運営業務が難航し、原価が予想以上に膨らんだことから、32百万円(前年同四半期比50.0%減)となりました。

③その他事業

その他事業におきましては、子会社の株式会社フォネックス・コミュニケーションズにて、カラオケ楽曲配信事業やニンテンドーゾーン[※]事業等を中心に行っております。開発売上につきましては、ニンテンドーゾーン事業を中心に受注が低調であったものの、パソコン向けアバター制作業務が好調に推移したことから、90百万円となりました。

運営売上につきましては、ニンテンドーゾーン事業における開発業務の低調が影響した結果、13百万円となりました。

ロイヤリティ売上につきましては、家庭用カラオケ楽曲配信事業においてWii U向けのサービスを開始したことにより、53百万円となりました。

この結果、当事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は1億57百万円(前年同四半期比26.5%増)、営業損失3百万円(前年同四半期は営業損失19百万円)となりました。

※ニンテンドーゾーン…特定の店舗や商用施設で、その場所特有のゲーム、音楽、画像、営業情報、販促物等の独自コンテンツをニンテンドー3DSやニンテンドーDSにダウンロードできるサービス。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産残高は、前連結会計年度末と比較して3億50百万円増加し、72億円となりました。資産の部におきましては、主に現金及び預金、有価証券、仕掛品等が増加した一方で、繰延税金資産が減少したことにより流動資産が2億71百万円増加しております。また、有形固定資産の償却による減少があったものの、ソフトウェア及び投資有価証券等が増加したことにより、固定資産が78百万円増加しております。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して1億95百万円増加し、18億64百万円となりました。これは主に、買掛金及び前受金等が増加した一方で、賞与引当金等の減少によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して1億55百万円増加し、53億35百万円となりました。これは主に繰越利益剰余金が増加したこと及びその他有価証券評価差額金の変動によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して3億34百万円増加し、12億14百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3億27百万円(前年同四半期は3億81百万円の資金獲得)となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益2億77百万円、前受金の増加額2億87百万円等による収入があった一方で、賞与引当金の減少額94百万円、為替差損益による変動額54百万円、法人税等の支払額1億9百万円等の支出があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、30百万円(前年同四半期は1億44百万円の資金使用)となりました。主な内訳は、定期預金の増減額1億10百万円等による収入があった一方で、有形固定資産の取得による支出29百万円、無形固定資産の取得による支出26百万円、短期貸付金10百万円等の支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、92百万円(前年同四半期は92百万円の資金使用)となりました。これは主に、配当金の支払額92百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年8月期の通期連結業績予想につきましては、平成25年4月5日に公表いたしました「平成25年8月期第2四半期累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載したとおり、平成24年10月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年9月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,140,128	2,364,307
売掛金	411,327	402,417
有価証券	177,343	211,360
仕掛品	1,054,092	1,084,936
繰延税金資産	86,856	50,462
短期貸付金	—	10,000
その他	35,205	53,143
流動資産合計	3,904,952	4,176,628
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,200,665	1,204,466
減価償却累計額	△493,093	△515,218
建物及び構築物(純額)	707,571	689,247
工具、器具及び備品	309,414	320,716
減価償却累計額	△276,818	△281,113
工具、器具及び備品(純額)	32,596	39,602
土地	709,565	709,565
その他	81,826	80,432
減価償却累計額	△80,484	△67,514
その他(純額)	1,342	12,918
有形固定資産合計	1,451,075	1,451,334
無形固定資産		
ソフトウェア	64,006	77,504
電話加入権	2,135	2,135
無形固定資産合計	66,142	79,639
投資その他の資産		
投資有価証券	572,275	660,283
繰延税金資産	37,431	20,509
投資不動産	347,682	347,682
減価償却累計額	△38,316	△40,415
投資不動産(純額)	309,366	307,267
その他	533,133	528,753
貸倒引当金	△24,000	△24,000
投資その他の資産合計	1,428,206	1,492,814
固定資産合計	2,945,423	3,023,788
資産合計	6,850,375	7,200,417

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	69,189	112,567
短期借入金	20,000	20,000
未払法人税等	108,839	105,014
前受金	716,297	1,004,223
賞与引当金	196,003	101,010
役員賞与引当金	—	11,000
その他	307,187	252,781
流動負債合計	1,417,518	1,606,597
固定負債		
役員退職慰労引当金	213,082	219,040
その他	38,954	38,954
固定負債合計	252,037	257,995
負債合計	1,669,555	1,864,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	967,000	967,000
資本剰余金	1,313,184	1,313,184
利益剰余金	3,343,582	3,407,749
自己株式	△340,215	△340,347
株主資本合計	5,283,551	5,347,587
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△87,608	△22,571
為替換算調整勘定	△31,685	△9,634
その他の包括利益累計額合計	△119,293	△32,206
新株予約権	7,056	9,350
少数株主持分	9,506	11,093
純資産合計	5,180,820	5,335,824
負債純資産合計	6,850,375	7,200,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
売上高	2,772,581	2,431,769
売上原価	2,099,104	1,869,571
売上総利益	673,477	562,198
販売費及び一般管理費	400,074	382,207
営業利益	273,403	179,991
営業外収益		
受取利息	6,808	4,139
受取配当金	2,626	4,977
不動産賃貸料	23,729	24,921
為替差益	7,175	54,276
雑収入	20,163	24,127
営業外収益合計	60,503	112,442
営業外費用		
支払利息	178	198
持分法による投資損失	11,104	14,329
不動産賃貸費用	14,155	14,163
雑損失	44	65
営業外費用合計	25,482	28,756
経常利益	308,424	263,676
特別利益		
固定資産売却益	—	2,968
投資有価証券償還益	—	10,680
持分変動利益	—	1,398
特別利益合計	—	15,046
特別損失		
固定資産売却損	—	413
投資有価証券償還損	—	1,009
その他	1,178	5
特別損失合計	1,178	1,428
税金等調整前四半期純利益	307,246	277,294
法人税、住民税及び事業税	149,496	98,586
法人税等調整額	5,766	20,416
法人税等合計	155,262	119,003
少数株主損益調整前四半期純利益	151,983	158,291
少数株主利益	—	1,586
四半期純利益	151,983	156,704

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	151,983	158,291
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,239	65,036
為替換算調整勘定	△3,623	19,034
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,927	3,017
その他の包括利益合計	△312	87,087
四半期包括利益	151,670	245,379
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,670	243,792
少数株主に係る四半期包括利益	—	1,586

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成24年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	307,246	277,294
減価償却費	57,903	54,569
株式報酬費用	2,311	2,293
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,551	5,957
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,222	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△56,509	△94,993
受取利息及び受取配当金	△9,435	△9,117
支払利息	178	198
為替差損益(△は益)	△7,257	△54,940
投資有価証券償還損益(△は益)	—	△9,670
持分法による投資損益(△は益)	11,104	14,329
持分変動損益(△は益)	—	△1,398
固定資産売却損益(△は益)	—	△2,554
売上債権の増減額(△は増加)	146,605	8,909
たな卸資産の増減額(△は増加)	57,067	△30,844
前受金の増減額(△は減少)	52,479	287,925
仕入債務の増減額(△は減少)	74	43,378
その他	△46,252	△62,816
小計	513,845	428,522
利息及び配当金の受取額	9,437	9,698
利息の支払額	△179	△196
法人税等の還付額	5,034	△520
法人税等の支払額	△146,259	△109,740
営業活動によるキャッシュ・フロー	381,877	327,763
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△90,000	110,000
有形固定資産の取得による支出	△13,973	△29,486
有形固定資産の売却による収入	—	3,528
無形固定資産の取得による支出	△39,567	△26,209
投資有価証券の取得による支出	—	△181,916
投資有価証券の売却による収入	—	169,071
短期貸付けによる支出	—	△10,000
その他	△998	△4,016
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,538	30,970
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△10	△131
配当金の支払額	△92,874	△92,513
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,884	△92,645
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,773	68,091
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	149,228	334,179
現金及び現金同等物の期首残高	931,644	880,128
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,080,872	1,214,307

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成24年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	ゲームソフト 開発事業	モバイル 開発事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,100,112	547,902	124,566	2,772,581	—	2,772,581
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,466	29,794	1,725	58,986	△58,986	—
計	2,127,578	577,697	126,291	2,831,567	△58,986	2,772,581
セグメント利益又は損失(△)	227,053	65,603	△19,253	273,403	—	273,403

(注)1 売上高の調整額△58,986千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成25年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	ゲームソフト 開発事業	モバイル 開発事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	1,695,307	578,919	157,543	2,431,769	—	2,431,769
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,012	102,930	1,579	110,522	△110,522	—
計	1,701,319	681,849	159,122	2,542,292	△110,522	2,431,769
セグメント利益又は損失(△)	150,868	32,803	△3,680	179,991	—	179,991

(注)1 売上高の調整額△110,522千円はセグメント間取引の消去の額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。